

国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2024年1月号 No.7

2023-2024年度ガバナー 田島 敏久



世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ

若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary



相模原南RC 横須賀移動例会



相模原中RC 野球教室



相模原西RC エンドポリオ募金活動



相模原東RC 地区大会



相模原柴胡RC 都庁見学(研修ツアー)



相模原かめりあRC 創立5周年記念 今年度新会員と小沢一彦先生

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023-2024



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー

田島敏久

(相模原西RC)



『職業奉仕月間に当たり一言』

ROTARYの職業奉仕の歴史と現在までの流れを見てみましょう。

1905年2月23日 PAUL HARRIS 他の仲間たちと CHICAGOにて ROTARYの誕生。【1業種1人の原則】で立ち上げ、1906年【相互扶助と親睦の概念】【社会奉仕概念】を追加。1907年【社会奉仕の実践】・公衆便所設置運動が語り継がれている。青年弁護士 HARRISは 同業者間の親睦のむずかしさを痛感していたので、競争相手とならない友人の輪を作り出そうと、会員一業種一人に制限したのです。これが ROTARYの職業分類制度の始まりです。1906年 DONALD CARTERは CHICAGO市の最大の利益を推進し、CHICAGO市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。参加して「親睦」と「奉仕」が融合した CLUBとなりました。【入りて学び、出でて奉仕せよ】という標語は（親睦を通じた人作り）、出でて奉仕せよは（奉仕を通じた外からの人作り）人作りはこの両輪が必要であると意味する。

1910年 SHELDON：職業倫理の重要性を強調し、腐敗や不正の排除をする。「ONE PROFITS MOST WHO SERVES BEST」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」2010年規定審議会で決定。

1950年 COLLINS 提唱：【SERVICE ABOVE SELF】「超我の奉仕」DETROIT 国際大会で新会員に ROTARY精神を学んでもらうための標語となる。

●職業奉仕関連の歴史的概観

1923年 ST. LOUIS 大会「決議23-24」採択～「ROTARYの心と実践より」

【ROTARIAN個人にも、ROTARY CLUBにも、奉仕の理念に基づく実践が求められているが、ROTARYの奉仕活動の実践は個人が原則である。CLUBが行う奉仕活動は会員の訓練の為の例示であることが明記された。】

その第一条では、ROTARYの奉仕理念が、「最もよく奉仕するもの、最も報いられる」という標語に表わされる「科学的かつ道徳的な経営方針によって、自分事業や同業者の事業の発展を図るとともに、

業界全体の MORAL を高めていこう」という職業奉仕の理念に支えられた【超我の奉仕】の哲学、即ち、他人のことを思いやり、他人のために尽くすという国際社会を含む奉仕活動の根本原理であることが明確に定義されています。

1927年ベルギーオステン国際大会：ROTARYの基本理念提唱

4大奉仕【CLUB奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕】が正式決定

1932年ハーバード・テイラーが会社再建のため「4つのテスト」作成

1954年「4つのテスト」版權を RI に寄贈

1987年職業奉仕に関する声明

職業奉仕は、ROTARY CLUBと CLUB会員双方の責務である。CLUBの役割は、しばしば職業奉仕を実践して見せることによって、また、CLUB自身の行動に職業奉仕を生かすことにより、さらに、CLUB会員が自己の職業上の手腕を発揮出来るような PROJECTを開発する事により、目標を实践、奨励することである。ROTARY会員の役割は、ROTARYの原理に沿って、自らと自分の職業を律し、併せて CLUBが開発した PROJECTにこたえることである。

2019年職業奉仕行動規範に ADULTの HARASSMENT 条項が加えられた。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準を持って行動すること。
- 2) 取引において 全て 公正に努める。相手とその職業に対して尊重の念を以て接すること。
- 3) 自分の職業 SKILLを生かして、若い人を導くこと。
- 4) ROTARYや ROTARIANの評判を落とす言動は避けること。
- 5) ROTARYの会合、行事および 活動において、HARASSMENTのない環境を維持すること。

以上、職業奉仕の HISTORYとその哲学を述べてきましたが、職業奉仕とは あなたの職業を通じて、他人を助けることです。

職業奉仕月間に因んで



地区職業奉仕委員会
委員長 **生駒 秀之**
(綾瀬RC)

2023～24年度の地区大会（11/25・26）において足立功一RI会長代理（釧路北RC）様のご講演の中で「職業奉仕」についてお話されました。お聞きになられた方も多くおられると思います。地区大会の中で「職業奉仕」を特に取り上げてお話されることは最近久しい事であり、自分の仕事を一所懸命励む事から、奉仕につなげる事を熱くお話されました。職業奉仕については、歴史と先輩ロータリアンの倫理観や行動規範、提唱によって多くの変遷が続いているプロジェクトであります。当委員会では昨年度は、「職業奉仕の第一歩」をテーマとして、職業奉仕をよりやさしく、基本的な事を伝える卓話を行いました。ローターアクトの会員や職業分類の緩和による入会された会員にも「職業奉仕」を知って頂く事、また、クラブ内で協議会やクラブ委員会の資料として活用されるように卓話を行いました。本年度は職業奉仕から「奉仕」の実践に繋がるようなテーマを掲げています。

クラブ標準定款6条2項 2016年～

奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員

の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

ロータリーの会員は、倫理観や行動規範の下、奉仕の理念を実践しようと定義されています。例会に出席して「自己研鑽」の場として「学び」、各々の職業や職務、任務を行う事が基本であり、その延長線に「奉仕」の実践があると足立様もお話されました。第6条2項そのものです。財団奨学生や米山奨学生などへの支援も立派な実践の一つです。職業奉仕を通じて様々な「奉仕」に広がる、つながる事も「職業奉仕」の理念として地区職業奉仕委員会の本年度のテーマであり、会員に皆様に伝えいくことが目的です。地区職業奉仕委員会は本年度も青少年や財団、公共イメージ、社会国際奉仕、ローターアクト委員会に参加させて頂き、社会の問題ニーズをより多く見聞して委員会で討議しています。

各々の事業（仕事）から奉仕=サービスを実践していくには、事業環境を維持向上する事、社会にニーズに応える、役に立つ、その事業、事業者が必要とされるように努める事だと思います。

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
職業奉仕月間に因んで	3
社会・国際奉仕委員長研修会開催について	4

米山研修日帰り旅行開催報告	5
インターアクト年次大会	6
第5 Bグループ・クラブ紹介	7
2026～27年度ガバナー・ノミニニー確定宣言 他	10
新会員紹介	11



社会・国際奉仕委員長研修会開催について

地区社会・国際奉仕委員会
委員長 山口俊明
(藤沢東RC)



晩秋の肌寒さが身にしみる中2023-24年度国際ロータリー第2780地区、地区社会・国際奉仕委員長研修会を2023年11月11日(土)、アイクロス湘南カンファレンスルーム6階においてハイブリッド方式にて、相澤光春様(公益財団法人ロータリー米山記念奨学会副理事長、2013-14年度ガバナー)をはじめ地区役員、クラブ委員長他概ね90名の参加を頂き開催致しました。

『異文化の「和」で希望に満ちた社会を創ろう』をテーマに講演とグループディスカッションの構成で進行いたしました。講演では「リソースネットワークのご案内」を向井稔地区社会・国際奉仕委員会副委員長(鎌倉RC)に、リソースネットワークの構成、国際奉仕に役立つ情報の共有、クラブによる国際奉仕活動、事例紹介、「伝言板」の創設、リソースネットワークの接続方法などクラブによる国際奉仕活動を支援する情報ツールとしてお話いただきました。又、「JICAの外国人材・多文化共生にける取り組み」をテーマに第2590地区学友会副会長(2021-23年度)JICA専門家(ベトナム・国際労働移動)山田玲様には、外国につながるのあるあらゆる人々が日本社会を共に作る一員として包摂され、安全安心して暮らせることができるようになることを目的に誰一人取り残されない日本、世界の実現に向けて、住労働者の人権尊重、経済成長の為の人材育成、外国

人材との共生社会構築などの取り組みについてビデオメッセージにて伝達して頂きました。又、平塚市役所市民文化・交流課課長柴崎恵子様(かながわ湘南RC)には「多文化共生社会にむけて」をテーマに、外国籍市民相談窓口や通訳・翻訳ボランティア、出入国管理・残留資格相談の開催など平塚市の取り組みについて講演いただきました。そして秦野市国際交流協会会長の山谷洋子様(秦野名水RC会長)には「秦野市に住む外国籍市民との交流を通じ、国際親善と国際理解を図り、もって世界平和に寄与することを目的に」と題して、中学生英語スピーチコンテスト、秦野市民の日、国際理解講座(料理教室)、国際交流フェスティバルなどの協会の事業活動の紹介をしていただきました。

講演後のグループディスカッションでは「労働不足から避ける事の出来ない外国籍の人々との共生社会に向けて、ロータリーが出来る活動について考える」をテーマに10グループに分け、地区社会・国際奉仕委員会の委員がファシリテーターとなり講演を参考に自由闊達な充実した討論会が行われ、参加された皆様の高揚された様子が印象的でした。終了後地区研修委員会の石井卓委員(厚木県央RC)に所感を頂き閉会となりました。

ガバナー事務所の皆様をはじめ関係各位の協力を心より感謝申し上げます。



米山研修日帰り旅行開催報告

地区米山委員会

委員長 **三 荒 弘 道**

(平塚RC)



令和5年11月11日(土)、2023～2024年度の「米山研修日帰り旅行」を開催いたしました。昨年度は「新会員の集い」との共同開催、東京芝公園にある米山記念奨学会訪問・大本山増上寺会議室をお借りしての「ロータリー米山記念奨学会とは」「2660地区で運用されるメンター制度とは」「米山学友世界大会～再会 IN 関東～を迎えるにあたり」と3部構成の研修を開催いたしました。今年度は原点に戻り、三島「米山梅吉記念館」訪問と米山梅吉翁を知る研修、米山梅吉翁墓参・箱根のロープウェイに乘車し大涌谷散策と交流という3部構成の内容で開催を致しました。奨学生・学友・世話クラブカウンセラーを中心に総勢60名弱のご参加を頂き、有意義なる研修及び交流はかかれたものと思います。

小田原駅に集合の後バスに乘車し、箱根ロープウェイ乗り場「早雲山駅」に向かい、ロープウェイ乗車後は早雲山から大涌谷へと向かいました。あいにくの曇り空で、富士山は隠れておりましたが、ロープウェイから見る大涌谷は圧巻で、奨学生もその景色に驚いた様子でした。昼食後、米山梅吉記念館に到着し、人数の関係で「米山梅吉記念館見学及び米山梅吉翁軌跡の研修組」と「米山梅吉翁墓地墓参組」の2班に分かれ、それぞれ入れ替えにてプログラムを進めさせて頂きました。「米山梅吉記念館見学及び米山梅吉翁軌跡の研修組」では会館職員の方が丁寧に館内を説明して頂いた後、ロータリー草創期のお話や米山梅吉翁の

足跡・人物像のお話、そして米山奨学金の成り立ち、更には古澤丈作氏のお話を賜る中、奨学生たちが熱心に聴講する姿が印象的でした。また、「米山梅吉翁墓地墓参組」での献華・献香し、墓前に手を合わせる姿は、奨学生・学友1人1人が米山奨学金に感謝をし、米山梅吉翁が奨学生・学友をまるで見守るかのような貴重な機会を得ることが出来ました。その後、米山梅吉会館を出発し「三島めんたいパーク」にて明太子づくりライン見学、そして夕食は三島名物「鰻」を堪能し、小田原駅へと帰路につきました。

今回の研修旅行は米山奨学生と世話クラブカウンセラーとの交流がしっかりとほかられ、ルイ会長、万副会長をはじめとする米山学友会の積極的な交流活動の中で米山奨学生にとっても良き研修となりました。

田島敏久ガバナーにおかれましては移動中のバス車内でも盛り上がるようにと差し入れをたくさん頂戴しましたことに感謝申し上げますと共に、多くの皆様方の協力に伏して御礼申し上げます。米山研修日帰り旅行開催報告とさせていただきます。



第33回インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会

副委員長 廣島 純

(藤沢RC)



秋の日差しが穏やかな11月23日、木々が少しずつ色づく北鎌倉の小高い丘の上に位置する歴史ある学び舎で、国際ロータリー第2780地区・第33回インターアクト年次大会が盛大に開催されました。本年度は、北鎌倉女子学園中学校・高等学校インターアクトクラブがこの重要なイベントの開催担当校となり、提唱クラブである鎌倉RCと緊密に協力し、地区の参加校と共に記憶に残る年次大会の実施に尽力してくれました。各校から集ったアクターは、互いの経験を共有し、新たな知識と刺激を求めあいました。また、藤崎一郎学園理事長をはじめとする学園関係者の皆様のインターアクトクラブへのご理解、鎌倉RCの濱田まり子会長をはじめとする会員の皆様の多大なるご支援、とりわけ北鎌倉女子学園中学校・高等学校インターアクトクラブの皆さんの熱心な取り組みが、まちがいなく本大会を成功に導く原動力となりました。活動報告のセッションでは、各校がそれぞれに特徴のある奉仕活動について熱心に報告しました。アクター全員の真摯な取り組みと献身的な姿勢が、参加者たちに強い印象を与えました。一人一人が自らの経験を語る様子は、まさに輝いて見えたのです。

今年のテーマは「now for the future～『比べる』

を『尊重』に～」と題され、日本財団パラリンピックサポートセンター常務理事の小澤直先生の講演「パラスポーツから見た共生社会へのヒント」と見事に連動しました。小澤先生の講演は、参加者たちに深い洞察と共感をもたらし、パラアスリートを通じた共生社会への道筋について大いに啓発されました。

講演後のランチミーティング&ディスカッションでは、アクター同士の活発な意見交換が行われ、多くの新しいアイデアや提案が生まれました。小澤先生からの貴重な話は、共生社会におけるリーダーシップの重要性を再認識させるものでした。ディスカッションを通じて、障害を持つ方々との共生についての具体的な事例やアプローチが共有され、参加者たちは共感と理解を深めました。

このような経験を通じて、インターアクトクラブ活動がいかにかパブリックスピーキングとリーダーシップの育成に貢献しているかを改めて実感しました。参加者たちは、この大会から得た学びと経験を、今後の活動に生かしていくことなのでしょう。この大会は、参加者にとって忘れられない学びの場となり、アクター全員の未来への一歩を支える重要なイベントとなったことを確信しました。





相模原南ロータリークラブ

会長 奥 橋 園 子



相模原南ロータリークラブは昭和45年に発足し53年目を迎えます。会員数は46名で相模大野を拠点として活動しております。

本年度の奉仕活動としては、障害がある方の「オートバイに乗る」という夢をサポートするサイドスタンドプロジェクトへの協力や、相模女子大学高等部の学生に様々な職業の

魅力を伝える出前授業、相模大野のハロウィンや相模原能でのポリオ募金を行ってきました。

今後は3662地区韓国濟州島RCとの青少年交換（日本と韓国の中学生10数名がお互いに行き来し交流を図る）や境川クリーンアップ作戦への参加の他、地元の音楽活動への協力が控えております。

友好クラブとの交流では、金沢北RCの50周年記念例会への参加、鹿屋西RCの例会に参加予定です。



出前事業



新能ポリオ募金



韓国濟州島青少年交流事業

相模原中ロータリークラブ

会長 阪 西 貴 子



相模原中ロータリークラブは、1977年に創立し、本年度で創立47年を迎えます。会員同士の団結力が強く、「未来に繋がる奉仕活動」を重視し活動を行っています。チャーターメンバーを含む先輩の方々が、若手のメンバーを暖かく見守ってくださっているお陰で、出席率が毎回90%を超え、自由でアットホームな雰囲気のクラブとなっています。

16年前より「相模原中ロータリークラブ旗争奪戦」として、相模原市の少年野球ジュニア大会を応援しています。前年度からは横浜国立大学野球部の選手の皆様を講師とし、市内の小学生を対象とした「少年野球教室」の開催のお手伝いもしております。今年は市内29チーム193名の小学3年、4年生が参加してくださいました。

当クラブ例会の名物は、コロナ渦握手をすることが憚れた中で考え出した「肘タッチタイム」でしょうか。握手は出来なくても、肘タッチで挨拶をすることで、親睦を深めてきました。今も続いておりますし、夜間例会も月末にあるので、どうぞ当クラブの例会にメイクをしに来てください。



野球教室の様子



野球大会



例会の様子

相模原西ロータリークラブ

会長 青塚 淳次



相模原西ロータリークラブは、今年度、1981年の創立以来初めてとなるガバナーズクラブとしての1年を送っています。第2780地区の皆様には、先般終了した地区大会を含め、様々な場面で多大なご協力を頂いております。まずは、皆様のご協力に対し、心より感謝を申し上げたいと思います。

当クラブでは、以前から、提唱する県立麻溝台高校インターアクト・クラブと連携したエンドポリオ募金活動（in東林間サマーわぁ！ニバル）、山梨県北杜市所在のレスパイト施設「あおぞら共和国」における地区補助金を利用した散策道の整備事業活動、地元少年野球団体の支援、駅前清掃活動など数多くの奉仕活動を継続的に行っています。今年度は、地区VISIONテーマを念頭に「ひろげよう！奉仕と笑顔の輪（和）」をクラブテーマとして掲げ、クラブ会員一丸となって、上記奉仕活動やガバナーズクラブとして携わるイベント等に取り組んでいます。今後とも、皆様のご指導とご支援を宜しくお願い致します。



エンドポリオ募金活動



あおぞら共和国

相模原東ロータリークラブ

会長 一戸 徳雄



前年度から引継ぎまして、会長を仰せつかっておりますが、会員少数の為に多くのプロジェクトに参加できないことは否めません。会員一同、心をつにし、お互いを気遣いながら、元気にそして仲良く、今年度の指針「和こそ全て」を大切にしております。

現在は、前年度から引き続き、「ホテル舞う相模原」に力を注ぎ、この団体に、リヤカーを2基贈呈し、地元の方の手助けになればと活動しております。

環境破壊が叫ばれている今日、自然と向き合い、自然を育てる事こそ、最優先すべき問題と考えます。

そして、更に大きなプロジェクトに発展できるよう、地区補助金を利用できるべく、鋭意努力を続けているところです。

出来る事でしたら、第5グループ全体のプロジェクトとして続けられることを希望しております。



市役所寄付



例会の様子



ホテル保存会



相模原柴胡ロータリークラブ

会長 桐生 貴央



自由奔放な雰囲気が、とても居心地の良い相模原柴胡ロータリークラブを紹介させていただきます。当クラブは前年度、2780地区第5グループIMのホストクラブを担当させていただき、これにより燃え尽きるかと思われましたが、留まることなく、ロータリーのシンボルマークの歯車を回転させなければなりません。

そこで、今年度は社会奉仕活動として、「2023年着物de文化フォト未来事業」に協賛させていただきました。この事業はご家庭の事情で、七五三や成人式の写真を撮ることができなかった方のために、着物を着てもらって写真を撮るといった活動です。ちゃんとした写真なんかいららないと言っていた子供たちが、着物を着て化粧をし、撮影する過程の中で変わっていく姿。これを見て涙する保護者からは、生きる勇気や頑張る力になっているという声が寄せられております。

お腹一杯食べることは一瞬で終わってしまいますが、いつまでも手元に残る写真は、子供たちの将来にとってかけがえのないものになると思いますので、今後も続けていけたらと考えております。これからも相模原柴胡ロータリークラブをよろしく願いいたします。



夜間例会場（火焰山）にて



着物deフォト未来事業

相模原かめりあロータリークラブ

会長 横山 真琴



当クラブでは今年度の「MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう」というテーマを受け、会員みんなの協力を持ち寄ることで負担を分散させ、仲良くロータリー活動が行けるように、例会の準備や設営はメンバー持ち回りの当番制にいたしました。またスマイル報告もご本人が読み上げるスタイルに工夫し、例会時には出席者全員に発言する場を設けて、メンバーの近況や思いを聞ける環境にしたことで、お互いの親近感がより一層近くなりました。

例会場は用途によって2カ所を使い分けており、Wi-Fi環境があるユニコムプラザでは現在もZOOMを併用しつつ、ZOOM画面には会場参加のメンバーの顔なども映して、オンライン参加でもできるだけ例会場にいる皆さんの様子が窺えるような設えにしました。いくつかの工夫と変化を施行した当クラブですが、メンバー皆さんが優しく受容してくださり、世代を超えたかめりあの和が深まったように感じております。



お知らせ

地区からのお知らせ

《次年度研修の予定》

2月24日(土) **地区チーム研修セミナー**

対象者：次年度地区役員／ガバナー補佐／地区正副委員長

3月1日(金) **地区研修・協議会 リーダー・サブリーダー打合せ会議**

3月9日(土) **会長エレクト研修セミナー(PETS)** (藤沢商工会館 ミナパーク)

対象者：次年度クラブ会長／次年度地区役員ガバナー補佐／地区委員長

4月21日(日) **地区研修・協議会** (県立保健福祉大学 in 横須賀)

対象者：次年度各クラブ 会長・幹事、委員会委員長
 リーダー・サブリーダー：現次地区役員ガバナー補佐
 地区正副委員長

※対象者はご予約ください。

《国際ロータリー第2780地区 2026-2027年度ガバナーノミニー確定宣言》

2026-2027年度ガバナーノミニー選出に際し、2023年10月4日付けで各クラブ宛に、2023年12月4日12:00を締切とし、最適任の会員をガバナーノミニー候補者として提案頂くように要請致しました。2023年12月8日14:00より指名委員会を開催し、討議致しました結果、鎌倉ロータリークラブよりノミニー候補者として提案のありました中込 仁志(なかごめ ひとし)会員をノミニーとして指名致しました。RI細則第12条(12.030.7)に基づき、2023年12月8日付けで、対抗候補者の推薦の締切を2023年12月21日12:00とし、各クラブに候補者の告知を致しました。期日までに対抗候補者の推薦がありませんでしたので、鎌倉ロータリークラブの中込 仁志会員が、2026-2027年度ガバナーノミニーに確定したことを茲に宣言致します。



ガバナーノミニーデジグネート
 なかごめひとし
中込 仁志
 (鎌倉RC)

所属クラブ	鎌倉ロータリークラブ	2016～17年度	地区青少年奉仕委員会 委員長
生年月日	1962年10月11日(61歳)		地区危機管理委員会 委員
職業分類	建設内装業	2017～18年度	クラブ会長
勤務先・役職	株式会社アベックス	2018～19年度	地区危機管理委員会 委員
	代表取締役	2019～20年度	第2グループガバナー補佐
			オンツォ・ホノルル国際大会委員会 委員
ロータリー歴			地区危機管理委員会 委員
2009年5月	鎌倉ロータリークラブ入会	2020～21年度	地区大会実行委員会 委員長
2010～11年度	地区インターアクト委員会 委員		地区危機管理委員会 副委員長
2011～12年度	地区インターアクト委員会 副委員長		地区研修委員会 委員
2012～13年度	地区副幹事	2021～22年度	地区研修委員会 委員
2013～14年度	地区会員増強委員会 委員	2022～23年度	地区研修委員会 副委員長
2014～15年度	地区インターアクト委員会 委員長	2023～24年度	地区青少年奉仕委員会 委員長
	地区危機管理委員会 委員		地区危機管理委員会 委員
2015～16年度	地区青少年奉仕委員会 委員長		メジャードナー/ポール・ハリス・マルチプル/ベネファクター/ポリオプラス・ソサエティ/米山功労者
	地区危機管理委員会 委員		



新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



かねみつ てつあつ
金光 哲淳
①藤沢西
②2023. 08. 03
③ゴルフ会員権売買
④塩坂 源一郎



いなば えいじ
稲葉 永治
①小田原城北
②2023. 09. 05
③建設業
④一寸木 芳行、
荒木 実



たしろ てつや
田代 鉄也
①藤沢南
②2023. 10. 01
③福祉サービス
④木本 己樹彦、
後藤 康太



よこみぞ たっぺい
横溝 達平
①藤沢南ディスカバー衛星クラブ
②2023. 10. 02
③飲食店経営
④後藤 康太、
足立 康也



ひらはら いさお
平原 績
①秦野
②2023. 10. 03
③建設業
④和田 俊弘



しみず だいすけ
清水 大輔
①秦野
②2023. 10. 10
③銀行
④小西 一知、
山口 宏



なかむら ひろのぶ
中村 博信
①かながわDEI
②2023. 10. 19
③個人事業主(士業)
④神谷 一博



かきもと ひろまさ
柿本 弘正
①逗子
②2023. 11. 01
③銀行
④横山 健



ほんごう ひとみ
本郷 一美
①逗子
②2023. 11. 01
③大学教員
④石田 隆



むらかみ いたる
村上 至
①藤沢南
②2023. 11. 01
③不動産賃貸業
④相原 利夫、
栗原 義夫



うめもと だいすけ
梅本 大輔
①イノベーションウェル備南
②2023. 11. 01
③経営コンサルティング業
④笹岡 将太郎、
猪熊 自然



つがる せいいち
津軽 誠一
①箱根
②2023. 11. 01
③美術館
④勝俣 伸、
野頼 清



この まさひろ
河野 正裕
①大和
②2023. 11. 07
③商業銀行
④道岸 唯一



あらかわ しゅういち
荒武 修一
①藤沢
②2023. 11. 08
③信託銀行
④小河 静雄



きくち けんいち
菊地 賢一
①藤沢
②2023. 11. 08
③不動産
④大小原 徹



たんじ じゅんこ
丹治 淳子
①藤沢
②2023. 11. 08
③通信業
④小河 静雄



つかだ じゅんろう
塚田 順朗
①平塚
②2023. 11. 09
③銀行業
④成瀬 正夫



まえはた まひと
前畑 真人
①藤沢南ディスカバー衛星クラブ
②2023. 11. 10
③飲食店経営
④後藤 康太、
木本 己樹彦



みやじま けいすけ
宮嶋 圭介
①大和田園
②2023. 11. 10
③広告代理店
④望月 高行



しじょう くにお
四條 邦夫
①茅ヶ崎中央
②2023. 11. 14
③WEBマーケティング
④竹内 悟門



さとう たかし
佐藤 孝志
①小田原
②2023. 12. 04
③電子事業
④穂坂 肇、
河野 精一郎



かわの ゆりえ
川野 友理江
①海老名樺
②2023. 12. 07
③生命保険業
④川島 俊郎、
佐藤 まどか

